



志免東中学校2年生体験学習(漁業)

わが町のきらっとさん!

粕屋地区では東中学校独自の取組(体験学習)



畜産酪農体験

志免東中学校では、総合的な学習の一環として「自己の生き方」を考える活動である「ニュースタイム(体験学習)」を全学年で実施しました。

各学年が各々テーマのもと、1学年は「北九州のエコタウンを訪れ自分たちの課題を調べる環境学習」、2学年は「長崎県松浦市を訪れ、第一次産業の体験学習(修学旅行)」、3学年は「志免町近隣の地域での職場体験学習」を行いました。

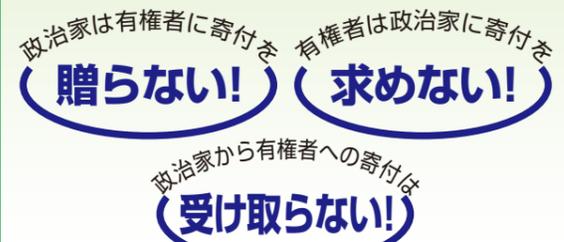


民泊で夕食作り

2学年総計124名の生徒(25グループ)が長崎県松浦市の今福、田代、青島の3地区の家庭に宿泊(民泊)しながらそれぞれ一生に一度となるかもしれない貴重な体験活動を行いました。

様々な体験を通して生徒たちは、宿泊先の方々やインストラクター・地域の方々からの話をしっかりと聞き積極的に行動することで、「自然や人から生き方・感謝の心を学びこれからの生活に活かそう」というテーマを達成することができ、そしてたくさん思い出づくりをするともに充実感を味わうことができました。

みんなで徹底しよう「三ない運動」
政治家の寄付は禁止
有権者が求めることも禁止



【議会広報特別委員会】

- | | |
|-------|----------|
| 発行責任者 | 大林 弘明 議長 |
| 委員長 | 吉田 大作 |
| 副委員長 | 近藤 辰也 |
| 委員 | 寺田 秀和 |
| | 二宮 美津代 |
| | 大西 勇 |
| | 牟田口 武史 |

9月定例会

- 財政硬直化すすむ
 どう使われたか!
 一般会計決算134億円 **2~3p**
- ズバリ町政を問う
 一般質問10人 **8~18p**
- 議会あれこれ
 議会報告会の開催 **21p**

発行・福岡県志免町議会
 編集・議会広報特別委員会 〒811-2292 福岡県糟屋郡志免町中央1丁目1-1
 発行日・平成27年11月1日 ◇印刷・株式会社 三光

お知らせ
次回の定例会は
12月4日予定

傍聴に是非お越しく下さい。
 議会傍聴は、町民が町政に参加する機会の一つです。
 ぜひお越しく下さい。車椅子席もあります。
 詳細は議会事務局までお問い合わせください。

TEL 935-1262 FAX 935-7070
 議会事務局は町役場4階です
 メールアドレス: gikai@town.shime.lg.jp

条例

志免町地域福祉計画策定 審議会設置条例の制定

志免町の総合的な地域福祉の推進を図るための地域福祉計画を策定することに伴い、審議会を設置するため必要な事項を定める。

(賛成多数)

- これらの違反があった場合には利用中止を認める。
- ④ 提供制限に対する違反
 - ③ ファイル作成制限に対する違反
 - ② 収集制限、保管制限に対する違反
 - ① 利用制限に対する違反
- 三、記録を訂正した場合にそれぞれに対して通知を行う。
- 二、目的外利用について、通常の個人情報よりもさらに厳格に利用がされるため条例において規定する。
- 一、重要な変更をする場合には、第三者機関である志免町個人情報保護審査会の意見を聴く。

(賛成多数)

28年1月1日施行

個人情報保護条例の一部改正

個人番号（マイナンバー）による番号法では、特定個人情報については個人の識別性が極めて高いことから、一枚の個人情報により手厚い保護措置を講じることとされており改正するもの。

主な改正内容

手数料条例一部改正

個人番号（マイナンバー）法が施行されるため日本に住民登録しているすべての人の個人番号が記載された通知カードが発行される。また、希望者には通知カードに変えて、ICカードである個人番号が公布される。これらのカードは一枚目無料。紛失等で再発行する場合は手数料500円、個人カードは800円。

(賛成多数)

27年10月施行



平成27年度一般会計補正予算

賛成多数で可決

8,711万4千円増 総額123億5411万4千円

【賛成】 近藤、寺田、牟田口、安河内、助村、野上、丸山、牛房、大西、古庄、二宮

【反対】 吉田、末藤

小中学校エアコン設置設計業務の予算については
説明資料不足のため撤回される **1,054万1千円**

補正の主なもの

- **地域福祉計画策定委託料** **256万4千円**
27年度から28年度にかけて地域福祉計画を策定するため。
- **小規模保育整備事業補助金** **817万5千円**
(726万6千円)国庫支出金
6人以上19人以下の小規模保育園事業補助金
- **道路改良舗装工事** **1424万円**
・田富4号線道路改良工事
・吉原18号線連両退避所設置工事
- **小中学校施設整備工事** **512万3千円**
各小中学校施設の改善補修工事
- **公民館施設整備工事** **691万5千円**
鏡公民館施設整備工事
- **マイナンバー住民登録事業** **159万7千円**

平成27年度特別会計補正予算

- ・国民健康保険……………1億3430万8千円増 総額55億8630万8千円
- ・水道事業会計補正予算…1億760万6千円増 総額10億722万6千円

反対討論 末藤議員

マイナンバーは国が国民の所得、資産を効率的に掌握し、徴税を強化すると同時に、過剰な社会保障給付を受けていないかなど、チェックするためであり、国民の利便性向上ではない。そのための共同調達標的型攻撃対策のソフトウェアリース料が含まれているため反対。

町の重要な課題

(太字は委員会の要望、要請)

総務文教常任委員会

子育て支援センター設置 何でも相談できる 態勢を

現在シームレイトで実施している地域子育て支援拠点に新たに、センター長を配置し利用者支援事業に取り組み。子育て情報の収集、提供、発信、サークルネットワークの支援員養成講習

などを行い、センターに行けば何でも相談できる態勢の整備を行う。

町内、町外は区別せず誰でも相談でき、子育ての悩みから虐待等につながるような支援助する。

専門資格を持つ指導者の配置を要請。

協働のまちづくり 支援態勢の拡充



シームレイト内子育て支援センター

住民活動団体育成支援事業、協働提案事業は24年度開始より3年が経過。住民参画推進委員会や団体の意見を踏まえ、より使いやすく、住民活動を応援する制度とするため見直しを行った。申請団体の人数要件の

緩和や補助内容の改正を行ったが、なかなか実績は上っていない。

協働事業制度の位置付け、より参入しやすい態勢作りを要請。

危険廃屋の管理 何故解決できないのか

空き家の状況は、今年6月現在92件、適正管理の依頼通知29件、内9件が適正に処理された。「特別措置法(27年2月)」施行で行政執行は出来るものの、公金を投入すべきか、費用回収などの問題も有り、解決に至っていない。

議会運営委員会

議会報告会について 初めての試み予算・ 決算の報告

「議会基本条例」で年1回以上の議会報告会開催を義務付けている。今年は初めての試みとして、予算・決算の仕組み、お金の流れをわかり易く説明することとした。日程は11月17日・18日、町民センター視聴覚室、シームレイトホールで両会場共19時より行う。また一般会議の周知を図る手立として議会だよりに掲載し開催の取組みをする。

第5回9月定例会について

会期は9月4日(金)から9月28日(月)までの25日間。決算審査の特別委員会を設置する。人事案件として副町長、監査委員、郡公平委員の選任と教育委員の任命を行う。

厚生建設常任委員会

高齢者見守り活動推進事業 安心して暮らせる 地域づくり

高齢者が住みなれた地域で、安心して暮らし続けることが出来る地域づくりをめざし、見守り活動の充実を図る。対象者(70歳以上単身者・75歳以上のみ世帯者)の名簿登載や情報提供

についての調査、不同意方式の採用としているが、どう対応するか、対象者把握を更に進めるよう要請。

地域包括支援システム サービスの低下を懸念

介護保険制度改正で、市町村に事業が移行される。要支援1・2の予防給付の地域支援サービスなどの構築がどう行われるか。サービスの低下がないよう、社

協、生活支援コーディネーター、地域関係者との協議を密にする。

地域包括支援センターの充実強化に努めるべきと要請。

上水道事業経営 料金見直しの ヒアリングは

現在の料金体系を維持することで、計画的な管理、施設の耐震化を行う。今後安定した経営を目指すため平成27年3月に「志免町水道事業ビジョン」を策定した旨の説明を町長に行っている。

水道料金改定は平成9年6月に行つて、これ迄改定はしていない。県内50水道事業のうち25番目の料金水準である。人口増加の傾向はあるが、節水意識の浸透、節水機器の普及で大幅な給水増加は見込めない。

徴収率の向上、経営のスリム化などの検討を提言。

議会広報特別委員会

本年4月の改選後新人3名を含む新しいメンバーで臨む。過去の広報を参考とし、より見やすいレイアウト、写真の撮り方などに配慮していく。

福岡都市圏広域行政 調査特別委員会

26年度策定の基本構想案の検討と実施についての方針。須恵町側に登山道と展望台及び駐車場を設置するが、余り費用をかけず縮小した規模で整備する。実施設計に着手する前の地質調査、測量業務の委託を行う。

志免炭鉱はた山 対策特別委員会

休止していた委員会を再開するにあたり、志免町の課題をどう提起するか。3町(志免・宇美・須恵)間で取組む問題点について正副委員長会を開催し協議する。



役場内地域包括支援センター



大西 勇 議員

障害者技能大会を広域で開催

答弁／広域でぜひ提案したい

大西 障がい者就労支援で大
事なのは、当事者の家庭環境
を把握することだ。本人や家
族の就労意欲についての情報
収集はどうしているのか。

福祉課長 サービスの利用申
請が来た時、また、施設等か
ら聞いている。

大西 企業側には法的な補助
制度がある。そういう制度の
周知徹底や説明会を積極的
に行ってほしい。

福祉課長 支援制度の啓発・
啓蒙を行い、商工会や企業に
対して正しい理解を得て頂く。

大西 「サービスを受ける側
からサービスを行う側へ」と
いう事で、知的障がい者にへ
ルパー等の資格を習得させ介
護事業所等への雇用を推進し
ている自治体がある。

その効果として、高齢者に
安心感を与え穏やかな雰囲気
にする。事業所の効果として
一生懸命に働く姿が他の職員
の刺激となるという効果が出
ている。こういう就労支援も
可能だと思うが。

町長 良い事はしっかりと取
り入れ今後活かしていきたい。

大西 障害者優先調達推進法
による支援として、入札前に
何%か施設に優先的発注をす
るといふ仕組みづくりを。

町長 各課と検討し優先的に
行っていきたい。

大西 障害者技能大会を広域
で開催。
これは職業能力の開発を促
進し、技能労働者として社会
の理解と認識を深め就労支援
を促進することになる。



狭い部屋でのPK2

PK2を広域連携で行っては

答弁／広域連携を密にし協議する

大西 PK2においては毎日
行かせたい。また、せめて6
年生まで利用したいという保
護者が多くなっている。単町
では財源的に厳しい面もあ
り、広域で行えば多くの児童

が利用でき財政的にも可能で
はないか。

町長 しっかりと広域連携を
密にしながら協議したい。

ズバリ町政を問う

大西 勇 議員 9P

- ①障害者福祉について
・ 障害者の就労 ・ 障害者優先調達推進法
- ②PK2について

助村千代子 議員 10P

- ①認知症対策と支援について
・ 早期発見・診断の体制整備
・ サポーターやキャラバンメイトの育成と活動支援

二宮美津代 議員 11P

- ①新教育委員会制度への移行について
- ②法教育授業（主権者教育への取組み）
- ③中高生の居場所づくり

牛房 良嗣 議員 12P

- ①地方創生への取組み ②出産・子育て環境の整備
- ③英語村の立ち上げ

古庄信一郎 議員 13P

- ①望山荘における町民と職員のトラブル（問題点の把握と今後）
- ②地方創生について（総合戦略策定）

丸山真智子 議員 14P

- ①行政評価について ②認知症を理解する教育
- ③空き家活用事業

寺田 秀和 議員 15P

- ①防災について ・ 女性消防団の設置
- ②自主防災について

近藤 辰也 議員 16P

- ①炭鉱労働者慰霊碑建立について

末藤 省三 議員 17P

- ①マイナンバー制度について
・ マイナンバーで個人情報を守るか
・ サイバー攻撃への対策は

野上 順子 議員 18P

- ①障害児への支援体制 ・ 妊娠中の母親への対応
・ 小学入学への対応 ・ 長期休みの居場所作り

※桜は志免町花です

会議録に基づき議員個々の自由編集で掲
載しております。
詳細は会議録（HP・図書館・各公民館
に置く）をご参照ください。掲載は質問
順としています。

一般質問とは議員が町政全般（一般事務・事
務の執行状況・将来に対する方針など）につ
いて、町長など執行機関の考えを議員個人と
して問いたたすことです。
質問の内容は事前に通告し、持ち時間30分の
範囲内で※1問1答で行います。
※質疑、答弁を理解するまで繰り返す方法

町長 広域で是非提案したい。



二宮 美津代 議員

どう変わる！教育委員会制度

答弁／地域の民意を反映できる制度へ

二宮 教育現場でのいじめ、自殺等の問題を受け、教育行政の責任の明確化、迅速な対応を行うことを目的とし、地方教育法が改正された。志免町では新体制にどう移行されるのか。
総務課長 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正、平成27年4月1日施行された。これにより地方公共団体に地域の民意を代表する町長と連携する総合教育会議を設置。7月21日会議を開催した。

二宮 公職選挙法の改正で、選挙権が18歳以上に引き下げられた。政治や選挙の仕組みを基本的なことから教える主権者教育は小・中学校でどのように行われているのか。
総務課長 広報とかを用いながら公表を検討する。

学校教育課参事 現行の学習指導要領の中では、主権者教育という言葉自体はない。中

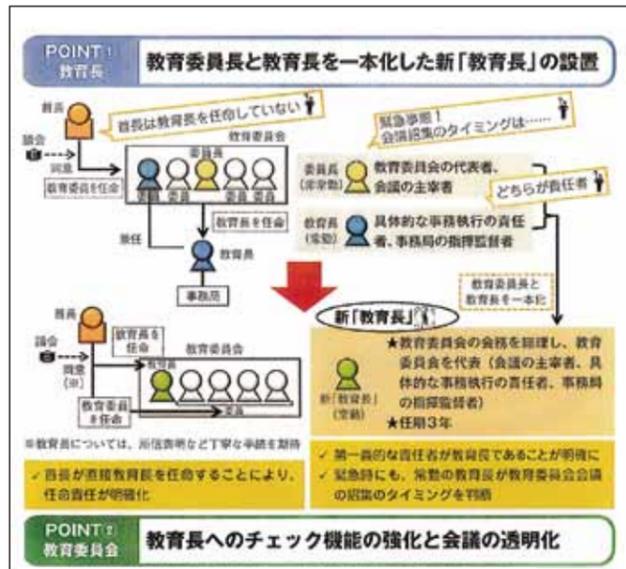
二宮 以前シチズンシップ教育の導入も提言した。継続的

教育長 教育に期待されている部分も多くなっているが、学校現場も非常に厳しくなっている。公聴会などでも紹介していきたい。

専門家による法教育授業を

答弁／学校現場も非常に厳しい

学では社会科で、主権者として政治の仕組み、参加の在り方について学んでいる。また生徒会役員の選挙、総会の議事運営などで将来の有権者としての意識の醸成に努めている。



新教育体制

認知症予防は早期発見と対応

答弁／今後普及啓発を予定している

助村 平成37年には認知症の方が約700万人と見込まれ、超高齢化社会の到来に備え認知症対策が必要。当町の認知症患者と予備群の実態は。
福祉課長 65才歳以上人口9710人の約8%、要支援、要介護認定者数1515人、予備群は推定値から1300人弱と推測される。

早期発見、診断、対応のための体制整備が必要。
福祉課長 認知症また予備群ではないかと気づき、正しく理解する事が重要。今後、認知症ケアパスを全戸配布し普及啓発を行う。
助村 啓発も大事だが、診断をしなければ治療に繋がらない。
物忘れ検診を始めている自治体では、的確な予防で改善に繋がっている。
早期発見プログラムの導入を。

う取り組みを行い効果を上げているが。
福祉課長 取り入れるべきと感じると思う。

助村 若年性認知症予防の啓発が必要。
福祉課長 個別の随時相談で対応している。



認知症ケアパス



助村 千代子 議員

助村 先進地では、対象者を絞り積極的改善に向けサービスを先行い介護からの卒業という取り組みで認知症予防に繋がっていききたい。
健康課長 町内会で行っている取り組みで認知症予防に繋がっていききたい。

健康課長 十分でないと思っている。地域の皆さんと一緒にやっていけたらとの思いで臨んでいる。

町長 実現に向け検討した



古庄 信一郎 議員

事件対応マニュアルの策定を 答弁／早急に対応する

古庄 5月23日、望山荘における町民と職員とのトラブルは未だに解決しておらず、今も町民の方は望山荘の利用禁止、事件をどう認識しているか。

町長 イベントでの音量云々で、音量を担当していた職員が対応できなかった事が発端。

古庄 課で作成された事故報告書と目撃者の供述とは大きな乖離がある。職員には非がなかったとの判断なのか。

町長 職員本人が当日耳栓を

古庄 5月23日、望山荘における町民と職員とのトラブルは未だに解決しておらず、今も町民の方は望山荘の利用禁止、事件をどう認識しているか。

町長 イベントでの音量云々で、音量を担当していた職員が対応できなかった事が発端。

古庄 課で作成された事故報告書と目撃者の供述とは大きな乖離がある。職員には非がなかったとの判断なのか。

町長 職員本人が当日耳栓を

古庄 公務員は公僕と言われるが、全てそうとは思わない。しかし、町民と職員の関係の根底にはあってもよい。管理職も若くなつていく訳で、今回を糧として誰もが理解する

副町長 関係課、職員の連携でしっかりと判断をし、慎重にやるべきだったのでは。

古庄 議長室に町民を呼んだり、町民が望山荘に行くこと警察を要請したり、結局初めから犯罪者扱いで対応している。新副町長の所見は。

総務課長 おかしなことだ。

古庄 議長室に町民を呼んだり、町民が望山荘に行くこと警察を要請したり、結局初めから犯罪者扱いで対応している。新副町長の所見は。

地方創生総合戦略策定はいつ

答弁／全体的には3月迄に策定する

古庄 地方創生関連策定のスケジュールは。

経営企画課長 人口ビジョンの策定、総合戦略の骨子は12月、全体的には3月までに策定する。

古庄 策定委員の中心は第5

次総合計画の代表と聞くが、同じ感覚でそこから抜け出さないのでは。

経営企画課長 審議会の方も若干入るが別組織としてやる。



楽しい演芸会

子どもの満ちあふれる町へ 答弁／地方創生は子どもが重点課題

牛房 人口減少、少子化にどう歯どめをかけていくのか。志免町の「地方創生」への取り組み、町長の決意を問う。

町長 地方創生をどのように考え、取り組みを進めるか現在検討中。12月議会にはお知らせしたい。人口減少問題は子どもたちへの取り組みを重点に考えたい。

牛房 人口問題については既に減少傾向になっている。もう福岡市には頼れない。町独自の対策をとるべき。その提案をする。

若い世代が安心して出産子育てができる町を目指し環境を整備する。

子どもの医療費の無料化。

保育料の無料化。

小・中学校での基礎学力の向上。

家庭教育への支援として、町がサポートする態勢を。

町長 以前パワーアップスクールの見学をした。地域の活性化に大きく貢献されている。

牛房 地方創生への私見だが志免英語村の提案をする。全国ですでに6ヶ所あり、英語で学べるよう配慮がされている。糟屋郡内でやったらどうか。志免町から発信してもらいたい。

町長 初めて聞くことなのですぐに回答できないが、広域的には考えられると思う。

牛房 単町ではやれないと思うが、周辺の町村あるいは市・



牛房 良嗣 議員

町長 先日外務省関係の仕事をされ、退官された方が何か協力できることはないかとのことであった。そういった方々のご協力も頂き取り組みをスタートする。

町長 地方創生については決意を新たにし、人口減少についても何も手を打たないというわけではなく対策を打つ。福岡空港の国際化も伴い、将来的にアジアへ向けても発信できる取り組みを視野に入りたい。



組体操、笑顔いっぱいの演技

行政評価で改善、予算反映を 答弁／町政運営へ反映は行っている

丸山 大事な税金を使って事業を行い、これを評価することで改善につなげ、また予算へ反映することが求められている。
行政評価の導入状況と町政運営へ反映されているのか伺う。
経営企画課長補佐 平成17年度から事務事業評価に取組み、平成19年度から施策の評価を連動させた。
重点施策に多くの予算を配分し、成果向上が見込まれないものは予算を削減するなど町政運営へ反映は行っている。

丸山 事例を挙げると、高齢者の緊急通報システム事業では受益者負担が発生してから180人から平成25年度は83人に減っている。
この評価をどう考えるのか。
福祉課長 要件緩和という要望があるが、税金でサービスの提供をしているので町でどこまでやるのか、評価では見えにくい。
丸山 孤独死防止とか安全に暮らすことが、この評価の一番大事なことだと思う。

先進自治体は評価に住民参加を進めているところがある。ぜひお願いしたい。
経営企画課長補佐 行政評価参画への町民の機運が高まるように努めている。



空き家を活用する対策は

答弁／特段とっていない

丸山 空き家対策については老朽家屋の除却と活用もできているのか。
活用という視点で何か考えているのか。
経営企画課長 空き家を活用する対策は特段とっていない。

地域の要望なり各課事業で、必要であれば活用できる空き家を調査し、活用することは可能。
丸山 認知症カフェなど空き家を活用する視点でも、ぜひ事業を行っていただきたい。

- その他の質問
- 施設の利用、活用について
- 認知症を理解する教育
- 18歳選挙権での主権者教育



丸山 真智子 議員

女性消防団を創設してはどうか 答弁／女性の役割等を決め募集する

寺田 地域防災活動を担う消防団員は少子高齢化により減少している。自営業者が減り会社員が増加し、活動に参加しにくく、団員の増加に至っていない。団に何か要請をしているのか。
総務課長補佐 今後も一緒に団員の確保に取り組んでいく。
寺田 団員数は181名だが地元の団員数を把握しているのか。
総務課長補佐 定数に満たない分団もあり、町外の団員が

多くなっているのも事実。
寺田 男女共同参画の取組として、女性の参加も大事で防災力の向上になる。女性消防団を考えているのか。
総務課長補佐 志免町に合った女性消防団の活動内容を明確にして今後PRしていきたい。
寺田 まず行政で女性のリーダーを育成されて、立ち上げたいのではないのか。

町長 女性の役割をしっかりと決めた上で、今後募集なりしていきたい。
寺田 消防団の会議で団員の意見を聞くことがあるのか。
総務課長補佐 年1回の幹部会議に町長も出席し、団員と意見交換をしている。



女性消防団による啓発活動

格納庫内にシャワー設置を

答弁／予算内で慎重に検討したい

寺田 団員はいち早く災害現場に直行し、消火活動等に長時間作業をする。また、訓練や練習により、体や服装が汚れ、家族に負担がかかる。また、活動を終えてそのまま会社に行くこともある。格納庫内にシャワーをつけてはどうか。

総務課長補佐 今後慎重に検討していきたい。
寺田 消防団OBで自主防災組織を立ち上げることを考えているのか。
総務課長 あくまでも町内会を基本とした中で立ち上げて

寺田 自主防災で一番大事な点は住民を無事に避難させることが最優先だが避難訓練をどう考えているのか。
総務課長 公民館単位で避難訓練をやっていききたい。



寺田 秀和 議員



末藤 省三 議員

マイナンバーで個人情報情報は守れるか 答弁／制度面とシステム面で保護する

末藤 マイナンバー共通番号制度について、先の公的年金の個人情報125万件の大量流出は、公的機関の個人情報管理の脆弱さと絶対安全でないことを示しており、マイナンバー制度の前提が壊れていることを浮き彫りにしている。

まだ施行もしていないのに国民の預貯金や健康診断情報など民間機関が扱う情報にも拡大、さらにカルテや診療報酬明細、レセプトなど医療情報、戸籍や旅券などマイナンバーは税金の徴収強化と社会保障などの給付抑制を狙うものである上に、ひとたび流

出ればはかり知れない被害を招く致命的な欠陥制度である。

なぜ今マイナンバーか、高齢者の金融資産を調べ、医療、介護の負担を引き上げる、これが本当の狙いではないのか。

経営企画課長 マイナンバーを安心、安全に利用するため、制度面とシステム面の両方から個人情報を保護するための措置を講じている。

末藤 公的年金流出が志免町民4万7000人の個人情報が一挙に紛失する可能性もある。

住民にどう説明するのか。

経営企画課長 マイナンバー制度について広報で制度開始、通知カードの送付、事情により住民票を移すことが出来ない人への登録申請要領についても案内し、ホームページも開設している。

末藤 年金機構みたいになれば取り返しのつかないことになる。

平成27年10月からマイナンバーを一人ひとりにお届けします!

- 1 マイナンバー(個人番号)とは、国民一人ひとりが持つ12桁の番号のこと。
平成26年11月から社会保障・税・災害対策の行政手続などで使用が始まりますので、大切にしてください。
*本人にも13桁の個人番号が決定され、国民誰もが自由に使用できます。
- 2 国民の利便性の向上
面倒な手続きが簡単に
マイナンバーを申請する際にマイナンバーカードとマイナンバー通知カードを同時に申請すれば、手続きがスムーズになります。
- 3 公平・公正な社会の実現
給付金などの不正受給の防止
行政機関が国民の所得状況などを把握しやすくなり、不正受給も防止できます。

0570-20-0178 マイナンバー 検索

どうなるマイナンバー制度



近藤 辰也 議員

志免炭鉱慰霊を町主催で 答弁／町主体の慰霊は行わない

近藤 志免町の近代化と反映の礎を築いた炭鉱労働者慰霊碑建立及び立て坑やぐらの保存について。多いときには、6000人ほどの方々が働き多くの方が犠牲になった。志免炭鉱の操業期間中は国営ということで慰霊祭も行われていたと思うが、閉山後については。

町長 昭和57年に、国鉄志免炭鉱記念碑建立委員会によって慰霊碑が建てられている。この記念碑の前で毎年10月には慰霊祭が行われ、今年で34回を迎えると聞いている。元志免町炭業所の従事者と家族で構成される志免会によ

り、平成18年ごろからは「志免立て坑やぐらを活かす住民の会」との共催で開催をされている。20名ほどが参加されておると聞き及んでいる。

近藤 それは志免町にあるのか。

町長 須恵町です。

近藤 私が聞いているのは、志免町のことです。

町長 この慰霊碑は、志免会と、志免立て坑を活かす住民の会との共催で、町がというのではない。

立て坑保存に田富・亀山炭鉱も

答弁／来年3月に報告書作成の予定

近藤 立て坑やぐらの修復に向け、計画内容について。

社会教育課長 平成24年度作成の保存活用計画書をもとに、立て坑やぐらの修理を行う予定。26、27年度に立て坑やぐら

の本体の健全性を把握することを目的として、調査工事を実施。来年3月に報告書を作成する予定。

近藤 計画に田富炭鉱及び亀山炭鉱も合同での慰霊碑建立も案に入れている。

町長 計画策定は立て坑やぐら本体の修理を目的としており、建立につきましては関係される方々を中心となつてつくれることが望ましい。今回の慰霊碑の建立は町としてお答えするようなことではないと思っ

4つの危険性を指摘し説明を求める。

①情報漏えいを防ぐ完全なシステムの構築は不可能。

②意図的に情報を盗み売る人たちがいる。

③一度漏れた情報、流通、売買され、取り返しがつかない状況に陥る。

④情報は集積されるほど利用価値が高まり攻撃されやすくなる。

年金機構と同じ様に進めようとしている。

特に中小企業、家族経営者、個人事業主にもナンバーの取得が課せられ困難が多い。

従業員も中小零細企業にも課せられてくる。

志免町の中小零細企業の人たちにはどのような指導をされるのか。



須恵町にある慰霊碑

追跡 あん質問は どうなったの？

孤立死防止への取組み

誰にも気付れないまま、亡くなる
ことがあってはならない。
(平成24年3月議会)



新聞配達、ガス検針時に異変を
察知した場合町に報告するネッ
トワークを構築すべく新聞社、
ガス会社、郵便局、コンビニ
12社と協定を締結。



防犯灯のLED化

防犯灯、街路灯への補助金と管
理体制将来の基本的方針を示す
べき。



従来の蛍光灯や白熱球、水銀灯
のLED化によって、電気料や
修繕費の削減が見込まれ効率
的運営に貢献できる。現在約
60%が完了。



野上 順子 議員

相談窓口の一本化と連携を

答弁／できるものはやって行きたい

野上 障害を持って生まれてくるのが、今はおなかの中でわかる。健康課はどこから対応できるか。

健康課長 医療機関より連絡が入る。保健師がケースカンファをし、退院後のサービスが必要であればつなげる。

野上 乳幼児への赤ちゃん訪問で、障害を持った子どもにはより深い訪問が必要では

健康課長 福祉課と協力し、訪問看護とも連携、会議を持ってしているが、回数は個々によって違う。

野上 健康課はいつまで子どもを見ているのか。

健康課長 明確な判断はしていない。福祉課、子育て支援課、学校教育課等と定期的に連携はとっている。

野上 町長が窓口の一本化を言われているが、あちらこちらから幼子を連れて廻る状況が、志免町にはあるのではないか。

町長 小さいお子さんを抱え各課を廻るといいうのは大変なことだと思う。公約の中にも住民窓口の一本化もうたっている。連携も大事と思う。

野上 3歳健診で発達の障害、言葉のおくれがわかったときに、親は不安が募る。言葉の勉強がある等の情報を把握発信してほしい。

健康課長 あらゆる相談窓口を提示している。

野上 小学校に入るの不安もある。入学の判定が遅いと思う。

学校教育課長 就学指導委員会が審議するが、発達検査の結果が異なるため。

野上 長期夏休みの居場所づくりへの対応はどうなっているのか。PK2は順番待ち、来年度はどんぐりもなくなくなる。新たに2事業者の予定がされているが、情報も行き届いていない。

福祉課長 「すりーる」に委託し保育園、幼稚園等関係機関を通じて行っている。

野上 しっかりとした障害の体制をとり、1人の方が情報を持って、長いスパンで携わってくださる人がいれば安心して生活できる。

町長 先進地の情報を収集し、取り組みたい。



庁内の相談窓口

議会あれこれ

議会報告会のお知らせ

議会改革の一環として、町民の皆様と町政の課題を共有し、より良いまちづくりを推進するため、「議会報告会」を開催いたします。



日時 平成27年11月17日（火） 19時～20時30分
会場 町民センター2階 視聴覚室 志免町志免中央1丁目2番1号(役場横)
報告グループ議員名
末藤省三・二宮美津代・古庄信一郎・野上順子・安河内信宏・寺田秀和

日時 平成27年11月18日（水） 19時～20時30分
会場 シーメイト1階 ホール 志免町大字志免451番地1
報告グループ議員名
牛房良嗣・助村千代子・丸山真智子・吉田大作・牟田口武史・近藤辰也

いずれも受付開始時間18時30分から
※両会場とも大林議長・大西副議長出席

報告内容 ・平成26年度決算と平成27年度予算について
・事業内容の報告・質問、意見交換

※皆様のご来場心よりお待ちしております。どちらの会場にご参加頂いても結構です。

主催 志免町議会

委員会 研修報告

先進地から学ぶ

総務文教常任委員会

- **目的**
「空屋・危険廃屋対策」
- **日程**
8月11日
- **視察先**
東京都新宿区役所
- **目的**
「子育て支援センター」の在り方
- **日程**
8月12日
- **視察先**
埼玉県和光市役所・
産前産後センター（和光助産院）

新宿区空屋等適正管理に関する条例と志免町危険廃屋条例の相違点について学習。
空屋適正管理審査会を設置し対応されていた。又、行政代執行については慎重に検討し実行には至っていないとのことでした。

妊娠中から出産子育てまで安心できるシステム（ネウボラ）を作られ「子育て支援センター」を中心に地域包括支援ケアシステムを構築しておられた。
その中でも「産前産後ケアセンター」では若い子育て世代のために、出産前から出産後まで、顔なじみの助産師による細やかな支援に感激した。



和光助産院視察



和光市役所での説明